宮坂豊光氏 (みやさか・とよみつ)

支店次長(東北支店駐在・東北支店土木

統括)、大阪支店副支店長、大阪支店長 を経て、2016年6月に執行役員大阪 支店長(現任)。宮崎県出身、61歳。

若築建設入社。大阪支店次長、 部門土木部次長兼復興対策室長、

## 思い出の現場

関 国際空港進入灯点検橋工事(和 若築建設株式会社 執行役員大阪支店長 歌山 側 宮坂

豊光

氏

## 目分が主役だと思って取り組む

駅には先輩社員が迎えに来て した。これが現場人生の始ま 工事事務所に連れて行かれま にある2階建てのプレハブの くれていて、田んぼの真ん中 で姫路駅に降り立ちました。 姫路工事事務所への配属が決 ました。入社式後に大阪支店 を卒業し、若築建設に入社し 1983年(昭和58)に大学 その日のうちに新幹線

山陽本線の下の河道を拡 施工は線路下の 1983 年山梨大学工学部土木工学科卒

なったのを覚えています。 よく所長の手料理をご馳走に た。所長が料理に凝っていて、 ですから仕事漬けの毎日でし 2部屋あり一つが所長でもう ました。今では考えられませ るURT工法が採用されてい エレメントで取り囲み覆工す トンネル断面を箱型中空鋼製 んが、宿舎は事務所の2階 つが私の部屋。こんな環境

な現場を経験させてもらいま シールド工事など、 中心に、共同溝や下水道管渠 あれから38年。 海上工事を いろいろ

現場は国鉄(現JR)の仕事

港進入灯点検橋工事(和歌山 震災や東日本大震災の復興工 した。土木屋ですが滋賀県内 術者として工事を任された現 側)は、初めてJVの主任技 ですが、なかでも関西国際空 した。どれも思い出深い現場 模プロジェクトにも携わりま 国際空港1·2期、 町民センター建築工事も担 羽田空港D滑走路の大規 今でも印象に残ってい

管4本を1セットとした斜杭 ど32歳の時です。 橋を架設しました。橋脚は鋼 製作した単純箱桁、 脚8基を施工し、そこに工場 ら約500mまでの海上に橋 陸上に橋台1基、護岸法線か 路延長線上に構築しました。 するための小さな橋梁を滑走 誘導するための進入灯を点検 (平成4)年4月で、 工事を受注したのは1992 4径間連続トラス 飛行機を 3 径間 ちょう

> どの工種も初経験でした。 き込むように箱桁の上部コ 基礎構造で、その上部を巻

ち船や鋼管杭の誘導から打 K - GPS 打設です。当時、 頭の結構作業は苦労しました。 チャックを外すと杭頭が跳ね が、それからはディーゼルハ る深度までは自沈したのです 視準が基本でした。斜杭はあ トランシットとレベルでの に記した誘導点、水準点から 設管理まで全て既設護岸上 ステムもありません。杭打 の位置決めに利用するRT 支持層が堅く、打設完了時に ンマーで打設しました。ただ、 上がる傾向があり、その後の杭 番苦労したのは鋼管杭の 打設管理シ 杭打ち船

を架設する際はドキドキでし ポイントを決めました。橋桁 響が少ない短時間で、 間帯で、日の出前の陽炎の影 しいのか分からなくなりまし 落とす点が変わり、どれが正 が、結局、最後は私の判断で 何度もポイントを出しました た。そこで、早朝の凪いだ時 炎が邪魔をし、測量のたびに 橋脚の微妙な揺れに加え、陽 座の位置決めも大変でした。 橋桁を据え付ける法線と沓 何度も

無事竣工を迎えました。 たが、許容誤差内に設置でき

見て、感無量でした。 当社名が書かれているのを られた銘板に施工業者として したが、橋脚の脇に取り付け ました。すっかり忘れていま る進入灯をきちんと支えてい りなく、今も飛行機を誘導す 会がありました。当時と変わ ています。先日、約30年ぶり さま」と声をかけてもらった 検査終了を告げられ「ご苦労 にこの進入灯点検橋に行く機 時、思わず涙ぐんだのを覚え

ほしいと思います。 と自信を持って取り組んで す。若い人たちには常に自 も役立つものを造る仕事で けでなく、後世の人たちに 分が主役だと思って、 我々の仕事は形に残るだ



検査完了後に撮影